



所在地：君津市久保 2-13-1

施主：君津市

設計：(株)坂倉建築研究所

施工：新日本製鐵(株)・大野屋建設(株)

環境に配慮した建築物

君津市保健福祉センターふれあい館



7

この建築は JR 君津駅東口から徒歩 3 分、区画整理された敷地 3,000 坪に、東西およそ 80 m、南面する三層の長い雛壇を重ねたシンプルな外観が、正統派モダンの格調ある容姿を輝かせて周囲に際立つ。

正面前庭は広い芝生、建物際にそった浅池が天空を映して水をたたえ、威圧感を和らげる雛壇状の建築外観と共に、駅が近く狭雑になりやすい街区にゆとりの空間を提供した。

雛壇の駆体構造が可能にした建築空間の特徴は、各階の広いフロントデッキの余裕と、固定した耐震壁の少ない屋内間仕切りの自在性である。さらに設備系機器と配管類は、各階のアクセスフリー床を通して北側外壁に露出させ、保守管理や可変性を容易にしている。

フロントデッキと屋内空間の快適性に機能しているのは、かつての部戸にヒントを得た「中折れ式電動ルーバー」の開発である。遮光、採光、通風など、変化する四季の自然外気の調整と、屋内外の空間利用に自由を与える優れた建築部材の実現といえよう。

「ふれあい館」の名にふさわしく、人と自然、人と人の望ましいふれあいと保健福祉サービスの多様な利



用に対応するこの建築は、今後のさまざまな可能性を示す原形として高く評価された。

(野口瑠璃)